

2025年5月14日
神戸電鉄株式会社
経営企画部

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」の一部訂正について

2025年5月13日に当社公式サイト上のIR情報において公表しております「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関し、数値の記載に一部誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

記

【訂正の理由】

当該資料で使用している「ROE」、「総資産」、「自己資本」の数値について、決算発表の公表数値ではなく、見込み数値のままであることが判明したため、訂正を行うものであります。

【訂正箇所】

- 1 ページ目の「1.資本コストと収益性の現状」

ROEと株主資本コストの推移のグラフ内の2024年度の「ROE」の数値

〔訂正前〕 (ROE) 4.93

〔訂正後〕 (ROE) 4.95

- 3 ページ目の「3.改善に向けた取組について①」

(1)ROE改善に向けた取組

ROEを売上高純利益率・総資産回転率・財務レバレッジに分解する際に使用していた「総資産」、「自己資本」ならびに「倍率」の数値

〔訂正前〕	(総資産)	<u>89,076</u>	(自己資本)	<u>23,670</u>
	(資産効率)	<u>0.25</u> 倍	(財務レバレッジ)	<u>3.76</u> 倍

〔訂正後〕	(総資産)	<u>90,680</u>	(自己資本)	<u>23,539</u>
	(資産効率)	<u>0.24</u> 倍	(財務レバレッジ)	<u>3.85</u> 倍

以 上

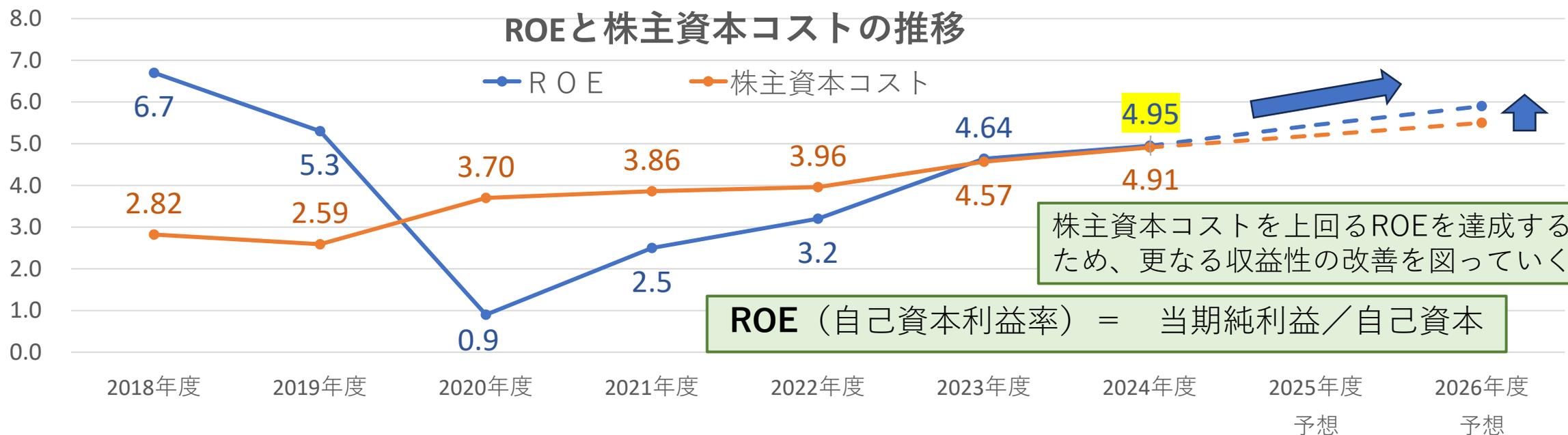
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

1. 資本コストと資本収益性の現状

〔当社の株主資本コストとROEの現状〕

株主資本コスト(※)は、リスクフリーレート（長期国債利回り）が上昇基調であることから、引き続き上昇すると想定（橙色点線）されます。そのため、今後はさらなる収益性の改善等により、株主資本コストを上回るROE（青色点線）を目標とし、エクイティ・スプレッドを高めてまいります。

※当社では株主資本コストの算出について、CAPM（資本資産価格モデル）を使用



CAPMによる株主資本コストの算出方法〔2024年度〕

リスクフリーレート
1.485%

+

リスクプレミアム
5.435%

×

β （価格変動率）
0.630

=

株主資本コスト
4.91%

3. 改善に向けた取組について①

当社グループにおいては、グループの核となる鉄道事業に関わる事業用資産への維持更新投資のウェイトが高く、その結果、資産効率の低下や有利子負債の増加を伴う傾向にあります。今後も次世代に向けた鉄道施設・設備への更新投資は必要不可欠となります。

このような事業特性を踏まえながら資本収益性を向上させるため、ROEを細分化した「収益性」、「資産効率」、「財務レバレッジ」について対応策を講じることによりROEの改善に努め、それにより企業価値を高め、株価の指標であるPBRの改善にも繋げてまいります。

(1) ROEの改善に向けた取組

・ ROE（自己資本利益率）＝ 当期純利益／自己資本

ROEを細分化すると以下のとおり

$$\begin{aligned} \text{ROE} &= (\text{売上高純利益率}) \times (\text{総資産回転率}) \times (\text{財務レバレッジ}) \\ &= \frac{\text{当期純利益 } 1,150}{\text{売上高 } 22,131} \times \frac{\text{売上高 } 22,131}{\text{総資産 } 90,680} \times \frac{\text{総資産 } 90,680}{\text{自己資本 } 23,539} \end{aligned}$$

①
(収益性)
5.20%

②
(資産効率)
0.24倍

③
(財務レバレッジ)
3.85倍

※数値は2025年3月期決算より